



NHK大河ドラマ『べらぼう〜萬重栄華乃夢〜』をご最肩の善男善女のおおのがたは、萬重が浄瑠璃の富本節に魅せられて、その歌詞本「富本節正本」^{とみもとせうほん}を出版したことは先刻ご承知のはず（右図がその一例）。江戸時代の芝居の音楽といえは長唄や、浄瑠璃の常盤津節などが先行し欠かせぬものとなり、市井でも愛されましたが、萬重が活躍した時代（一八世紀後半）に人気音楽として食い込んできたのが常盤津から出て一派を築いた浄瑠璃の富本節でした。この浄瑠璃は品良し艶やかな情調が特徴でした。しかも萬重が最肩^{さいかた}にした二代目富本豊前太夫（前名 富本午之助）^{とみもと ぶんすけ}は類まれな美声家でしたから大勢のファンが熱出したこのことです。

だからといって、萬重は富本節だけ聴いていたということにはなりません。吉原では当世流行りの音楽が話題になりましたし、出版人として意欲的に活動すればするほどいろんな人と交流し影響も受けたでしょうし、音楽趣味も拡大していったと考えるのが自然です。では萬重は実際、他にどんな音楽を浴びて暮らしていたのでしょうか。

『べらぼう』、萬重栄華乃夢噺』 関連本が沢山世に出ていますが、そこにはあまり手がかりは見つかりません。しかし、心配ご無用です。萬重の時代に広まった黄表紙きびょうし（江戸中期に始まりすぐに盛期を迎えた絵入りの戯作タイプの草双紙）には、当時人気を博していた音楽がしばしば出てきます。歌詞や趣向をもじっている例が多いです。人気音楽だったからこそそうして引用したのでしょう。作者では、このかはらまち 恋川春町、ほうせいでん 明誠堂喜三三、さんとうきやう 山東京伝などの戯作に音楽の引き合いが多いです。この三人は実際、音楽通だったようですね。この三人の、萬重から出た黄表紙だけでなく、何かと萬重と絡んでドラマに登場する鱗形屋や鶴屋が出したのも含めて、出てくる音楽の種類をここに書き出してみやしょう。

【恋川春町】
きんきんせんせい いがの ゆめ
『金々先生栄花夢』 鱗形屋版（安永四）..
はなのおき
謡曲『咸陽宮』 邯鄲
『鈴木』 からの引用、もじり。歌舞伎浄瑠璃『物ぐさ太郎』のたとえ。

【『古典邦楽十吋盤のすすめ』 宣伝の段】

東西々々。掲げたるは江戸時代に人気を博した音楽を中心に、戦後昭和の早い時期に発売されたLPレコード盤（30センチ盤ではなく25センチ盤の時代）を多数紹介した単行本でござります。その時代、写真ならず絵画が使われたジャケット多し。江戸時代を偲ばせる情緒のジャケットあまた有馬山。今ではお目にかかりにくくなった日本の風物、衣装、風俗、商売、仕草、文様他と出会うこと珍しからず。各盤を、ジャケット写真＋内容紹介文＋演奏者デー

タで御紹介約700点。約130頁のカラーページでその多くのジャケットをとくと御覧に入れる。

▼収録ジャンル…長唄、歌舞伎舞台、浄瑠璃（義太夫節・河東節・一中節・荻江節・宮園節・常磐津節・清元節・新内節、端唄、うた沢、小唄、俗曲、都々逸、他多数。

▼定価4800円（税別）▼総頁：576頁

▼法：26×13×18.8cm

▼著者：岡島豊樹 ▼出版元：カンパニー社

<http://companysha.com/kotenhougaku>

時代物浄瑠璃『ひらかな盛衰記』からのものじり。
 ばけもののおえやま
 『化物大江山』 鱗形屋版（安永五）…長唄の『戻橋』、長唄『綱館』
 の趣向のものじり二

『参訓対紫曾我』 鱗形屋版（安永七、萬屋再版（寛政六）。曾我兄弟の敵の工藤祐経も、味方の畠山重忠も豊後節、中でも富本節を好むということにして、富本節の大プロモーションの様相を呈した趣向の戯作。『助六』の揚巻のまがいもの登場。

『無益委記』(安永)天明年間・江戸前の浄瑠璃の河東節。当時【かとう】河東祚【げき】外記袴【はんた】半太羽織に義太股引。豊後かわいや丸裸」とたとえられたが、豊後は常磐津や富本節の母体となつた浄瑠璃の豊後節のこと。豊後節は心中を促進するとのカドで幕府は禁止にした。さらに神楽催馬楽、都々逸の前駆の七七七五も。

『吉原大通会』 岩戸屋版（天明四）.. 謡曲『大会』 鉢木 邯鄲の詞章のもじり。今様（平安時代の一種の流行歌）。荻江節の創始者荻江露友のもじり。歌舞伎・浄瑠璃『ひらかな盛衰記』のセリフのハロディ。

『鸚鵡返文武二道万石通』 萬屋版（寛政元年）
 .. 御詠歌や新内節
 鸚鵡返文武二道万石通
 萬屋版（寛政元年）
 .. 御詠歌や新内節

【朋誠堂喜三】

「桃太郎後日噺」鱗形屋版（安永六）・・謡曲「高砂」のもじり。歌舞伎・浄瑠璃「道成寺」現在蛇鱗、浄瑠璃「日高川入相花王」、謡曲「道成寺」といつた道成寺物の趣向。長唄「鶯娘」のもじり。

『一流万金談』 蔦屋版（天明元年） .. 河東節、岡崎節

『文武二道万石通』薦屋版(天明八)..
河東節。乱舞(能)。義太夫節

【山東京伝作品】

『御存商売物』鶴屋版（天明二）…能の間狂言、浄瑠璃『ひらかな盛衰記』四段目、長唄、義太夫、声色（声帯模写）。

『天慶和句文』鶴屋版（天明四）…長唄『四季の挽久』『夕くみ』『鶯娘』
富本節『道行瀬川の仇浪』、童謡。

富本節「道行瀬川の仇浪」、童謡

『江戸生艶氣棒焼』 萬屋版（天明五）…新内節『帰咲名残の命毛』の玉木屋伊太八、同『仇比恋の浮橋』の浮世猪之助。めりやす

六十八曲の名称（無間）他。河東節「道成寺」「松の内」、浄瑠璃かなでほんちゅうしんぐら『仮名手本忠臣蔵』。

『明牟七変目景清』 蔦屋再版(天明六)..くさざりびき謡曲『安宅』だんのうらかぶとぐんき『勧進帳』が下地
荻江節『草摺引』 義太夫節『壇浦兜軍記』の『阿古屋琴責の段』ネタ。あこやことづめ

『奇事^{キジ}中洲話』 薦屋版^{カサヤ}（寛政元年）…浄瑠璃『冥途^{ミョト}の飛脚』、富本節『道
行恋飛脚』、長唄『雉子^{キコ}』、荻江節の荻江藤兵衛。俗謡。義太夫節調
の道行。

長唄、河東節、荻江節、義太夫、新内も人気筋だったようでゲス。ドラマにもっと音楽の場面を出して欲しいおくんせい。

